

## 平成23年度第3回中原区区民会議運営部会会議摘録

○日 時 平成23年12月26日(月) 午後2時～3時30分

○場 所 中原区役所5階505会議室

○出席者 板倉委員、川連委員、杉野委員、鈴木委員、松本委員、

(事務局)石澤副区長、企画課：綱島課長、服部課長補佐、宮田担当係長、園田担当係長、橋本職員、深谷職員

(行政関係者) なし

(委託契約業者)石塚計画デザイン事務所

○欠席者 吉房委員

○傍 聴 なし

○報 道 なし

○次 第

1 開会

2 会議録確認委員の選任

⇒杉野委員を選任

3 議題

(1)「区制40周年の取組」について

(2)区民祭について

事務局：中原区区民会議運営部会要領（以下、「要領」という。）第5条第2項に基づき、委員の過半数の出席により会議は成立している。本日の資料は、資料1「中原区区民会議区制40周年を迎えて（課題調査部会審議のまとめ）」資料2「区民会議における区民祭の取組」資料3「第3期中原区区民会議のスケジュール及び審議の流れ」参考資料「平成23年度かわさき自治推進フォーラム2012及び区民会議交流会」を配布した。

鈴木部会長：会議録確認委員を選任したいが、杉野委員にお願いしたい(委員承認)。それでは、『「区制40周年の取組」について』と『「区民祭について」』について審議したい。11月21日に開催された課題調査部会（以下「部会」という。）の報告を部会長である川連委員からお願いしたい。

川連委員：部会では「中原区制40周年を迎えて」と「区民祭について」審議した。まず、「中原区制40周年を迎えて」については、10月19日に開催した第3回区民会議で提案された取組の中から、部会委員が区制40周年にふさわしいと考える取組やテーマを各自3点ずつ選んだ。また、改めて新規の取組も提案した。資料1の2ページの真ん中の表がこれに該当する。資料の3ページから9ページにその内容を詳しく記載した。区制40周年のテーマについて、3ページにそれぞれの取組の趣旨や理由を集約し、4ページにア「地域コミュニティや人とのつながりを深める」、イ「世代を超えた交流」、ウ「未来に向かって」のキーワードを示し、「世代をこえて人がつながるなかはらー未来に夢と希望を託してー」をテーマとした。このテーマに向けて、区制40周年の取組を考えていくこととし、審議を進めるにあたり、2ページの右端の表に3つの「取組を活かす柱立て」を立てた。その中で、2「既存活動での取組」と3「既存事業との協働」については、区民会議委員の活動の中で取り組むこととし、部会の中では、主に市民報告会を中心

に審議した。12ページでは区民会議として実施可能なものについて抽出した。13ページでは様々な取組の活用方法を、14ページでタイムスケジュールを、15ページでそれぞれの取組会場を示した。市民報告会をこうした組み立てで実施することが提案された。また、今回抽出されなかった取組については、10ページと11ページにまとめ、それぞれ右端にその理由を示した。抽出されなかった取組の中で、市民報告会で実施可能と思われるものは12ページに記した。さらに、区制40周年については、区が行っている市民提案型事業として、広く区民から募集するのも1つの方法とされた。

次に、区民祭についても、部会委員が3点ずつ選び、資料2にまとめた。ただ、審議の中で、区民会議委員が、それぞれの活動の中で区民祭に参加しており、区民会議として区民祭に関わるのか、パネルなどの展示だけで区民会議を知ってもらう効果があるのか、また、区民祭に区民会議が単独で参加するのではなく、委員のそれぞれの活動の中で区民会議のアピールをするといった意見があった。区民祭については、結局、参加するかどうかについては結論が出ず、次の第4期区民会議での継続審議とした。以上が部会での審議内容である。

鈴木部会長：部会からの報告についていかがか。意見がなければ「区制40周年の取組について」審議したい。40周年をどういう位置付けで課題として取り組んでいくのか、取組のテーマが必要だということである。事務局から補足説明があればお願いしたい。

事務局：資料1の3ページにある部会により抽出されたテーマについて、地域コミュニティや魅力発信、中原を知るなどの共通とする言葉がある。4ページでは、それをフレーズとしてまとめ、「世代をこえて人がつながるなかはらー未来に夢と希望を託してー」というテーマにした。40周年を1つの通過点として、人の流入が大きく、変化の著しい区の中で、世代間の交流や地域のつながりを深めること、次世代に区の歴史等をつなげていくことが課題であり、区民会議として取り組んでいくこととした。

鈴木部会長：これについて意見を伺いたい。

松本委員：市民報告会で区民会議の活動報告とともに、40周年の取組の1つとして扱っていくことは非常にいいアイデアである。委員からも多くの取組が出され、市民報告会を活用することで取組の実施や区民へのアピールができるのではないかと。

鈴木部会長：「世代をこえて人がつながるなかはら、未来に夢と希望を託して」というテーマの設定に基づき、区民会議の取組の1つとして市民報告会の活用が提案されている。区民会議としてできることを区制40周年にからめながら、市民報告会で色々とやってみてはどうかということである。区民会議の活動報告を基本に、中原市民館の多目的ホールを使って、コンサートやシンポジウムなどを行い、そのほかに、展示なども実施しながら、大いに区制40周年を盛り上げ、次の世代につなげていく。12ページから15ページには具体的な構成やタイムスケジュールが記載されている。事務局から少し説明をお願いしたい。

事務局：市民報告会を区民会議の区制40周年に向けた取組とするために、各委員の取組の中から、実施可能と思われる取組を12ページに記載した。13ページでは、12ページの取組についてコンサートや、マナーアップポスターの展示など具体的に想定しているものを示した。14ページと15ページでは、それぞれの会場における催しものとその時間や、それに沿った会場図となっている。今回、具体的で細かく表記することでイメージし易くした。

鈴木部会長：これについて意見を伺いたい。14ページのタイムスケジュールだと最初に区民会議

の活動報告となっている。人の集まりが悪いのではないか。地元の吹奏楽団のコンサートをオープニングにし、その後に区民会議の活動報告を行う方がいいのでは。

杉野副部長：地元の吹奏楽団を呼べば来的人が多く、会場が一杯になってしまうのではないか。

鈴木部長：多くの吹奏楽団を呼べば人も来るだろうが、あくまでもメインは区民会議の活動報告であり、コンサート等は盛り上げるための材料である。

松本委員：市民報告会として盛り上げていくには、オープニングコンサートを行い、次に、区民会議の活動報告、シンポジウムといった順番がいいのでは。

鈴木部長：申込制を考えているのか。

事務局：特に考えていない。広報としては市政だよりの掲載や町会等に案内チラシを配布する。

杉野副部長：定員を決めて先着順にするなど対策も必要では。

事務局：多目的ホールだけでなく、会議室も利用しながら展示も行う。果たして、定員を決めることが妥当かどうか。

鈴木部長：議論すべきことは多いが、市民報告会を区制40周年の取組として実施することについて、1月18日の区民会議に提案したい。

松本委員：区民会議は試行を含めて7年が経過し、その間2年ごとに市長に報告書を出している。区民への周知や変わりゆく中原を考える上で市民報告会を区制40周年の取組として位置付けていくことは効果的で有意義である。また、新たにイベントなどを計画し実施するには、労力等が必要であり困難である。

鈴木部長：商店街として協力体制はどうか。

川連委員：商店街のイベントを行う場合でも店主が携わることが難しく、協力できるかどうかかわからない。

板倉委員：市民報告会を活用するのはいいのだが、人数のことで区民会議の活動報告を含めて取組の構成についてはもう少し検討が必要と考える。区民会議の中で実際に動いてくれる人の中で検討してもらえば。また、区のシンボルマークの旗をつくれれば、イベントにも利用でき区民にアピールも可能。区制40周年ということで1つぐらいは残すものがあるのもいいのでは。旗の活用としてポールを立てることも1つの案ではあるが。

鈴木部長：区制40周年については、部会から提案されたテーマを基本に、市民報告会で区民会議として取り組んでいくことを本会議に諮っていきたい。そのほかの取組については、できること、できないことを前提に、本会議に諮っていきたい。次に、区民祭について審議したい。区民会議をアピールする場として活用できないかということから出てきている。部会の報告のように、本当に区民会議として、区民祭に関わることができるのかという点もあり、課題が多い。部会では、結論を持ち越し、次期の区民会議で話し合うことを提案している。これについてどうか。

川連委員：区民会議の委員全員に携わることができるかどうか確認にした方がいい。

杉野副部長：今回の区民祭では「中原区エコカフェ」の中で区民会議のパネルなどで周知を行っていた。区民祭の開催中は人も多く、携われる委員が対応すればいいのでは。

事務局：今年度は区民祭に併せて市民ミュージアムで「中原区エコカフェ」を実施したが、次年度については場所も時期も決まっていない。また、事務局も区民祭の運営を担っており、どこまで関われるかわからない。

鈴木部長：区民祭について、区民会議に諮る妥当性があるかどうか確認したい。

杉野副部長：区民会議に諮り、各委員から意見を聞きたい。

川連委員：人数を集めなくても少数でできることをやれば。

鈴木部長：区民祭について区民会議で意見を聞くことにしたい。次に、その他事項について事務局から説明をお願いしたい。

事務局：まず、今後のスケジュールについて説明する。資料3「第3期中原区区民会議のスケジュール及び審議の流れ」のとおり、1月18日に第4回区民会議を開催する。当日は、区民会議の開催前の午後2時から区のエコ対策に関する設備の見学を予定している。また、第4回運営部会を2月14日（火）、16日（木）の中で開催し、第3期区民会議の最終報告書の作成に向けて審議をお願いしたい。3月19日（月）、23日（金）の中で第5回区民会議を開催し、第4回運営部会の最終報告書の原案審議を受け、その確認を行っていききたい。次に、子育てアンケートについて報告する。10月21日から12月16日まで計14回実施し、542件の回答を得た。対象は930件で回収率は58.3%で、今後は集計作業を行い、第4回運営部会で結果報告をできるようにしたい。次に、1月29日（日）に高津市民館で「かわさき自治推進フォーラム2012」を開催し、「区民会議交流会」を実施する。各区から3名の代表が出席し意見交換を行う。議長は高津区、副議長は麻生区が勤める。中原区からは、鈴木委員長、川連副委員長、杉野副委員長が出席する。時間があれば参加をお願いしたい。

鈴木部長：今の報告に意見がなければ、以上で運営部会を終了する。